

# 秋田県大潟村との 再生可能エネルギーに関する 連携協定の締結について

2022年8月3日  
市長定例記者会見  
説明資料

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA

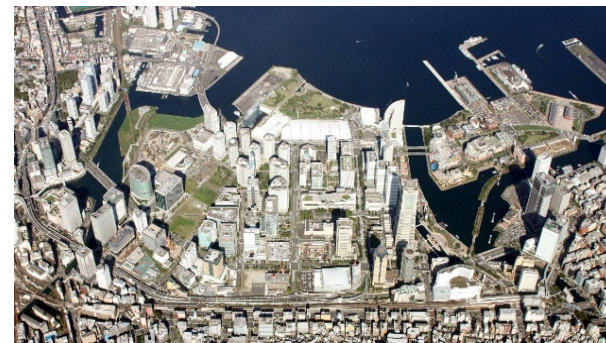


# 本市の取組

- 本年4月、みなとみらい21地区が  
第1回「脱炭素先行地域」に選定  
2030年度までに民生部門の電力消費に伴う  
二酸化炭素(CO2)の排出実質ゼロの実現
- 「大都市における脱炭素化モデル」を  
構築し、横浜市の2050年の脱炭素化  
をけん引



脱炭素先行地域選定証授与式



脱炭素先行地域に選定されたみなとみらい21地区

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



# 本市の取組

---

## 他都市連携の必要性

<本市の特徴>

市内の再生可能エネルギー創出のポテンシャルは低く、  
2050年の電力の推計消費量の約1割程度と試算



市域外からの再生可能エネルギーの供給は不可欠

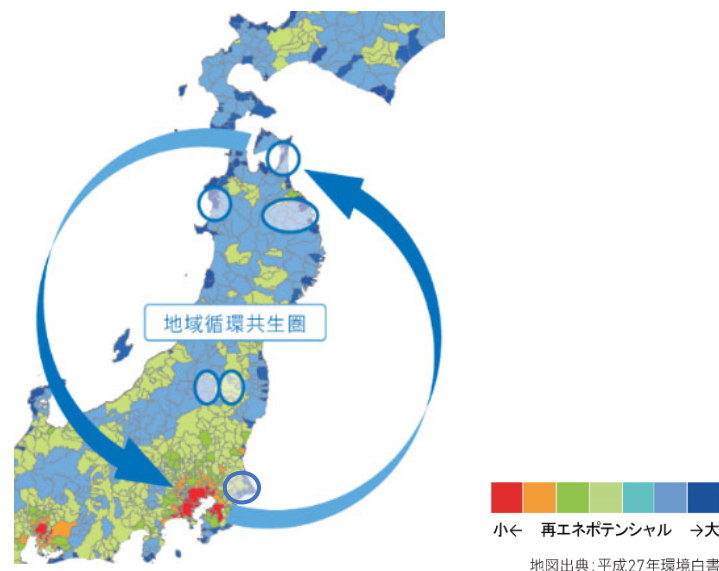
# 本市の取組

## 再エネの供給拡大

これまでに、再エネ資源を豊富に有する14の自治体と「地域循環共生圏」の考え方にに基づき、連携協定を締結

これまでに連携協定を締結している自治体

- ・青森県横浜町
- ・岩手県県北広域振興局対象自治体等  
(久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、軽米町、  
野田村、九戸村、洋野町、一戸町)
- ・秋田県八峰町
- ・福島県会津若松市
- ・福島県郡山市
- ・茨城県神栖市



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



# 大潟村との連携協定

「脱炭素先行地域」に選定された大潟村と  
“都市と農村の地域循環共生圏の構築”を目指します。

➡ **全国初となる脱炭素先行地域間の連携協定**



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA





# 大潟村との連携協定

## 1 再生可能エネルギーの創出・導入・利用拡大

➡大潟村で発電された再エネを横浜市内事業者等へ供給

## 2 脱炭素化の推進を通じた、住民・地域企業主体の相互の地域活力の創出

➡再エネの供給等を通じて住民・企業が交流を深め、地域を活性化

## 3 再生可能エネルギー及び地域循環共生圏の構築に係る国等への政策提言

## 4 脱炭素先行地域に関する取組推進・情報共有

NEW

## 5 脱炭素化の取組の継続的な推進に向けた人材育成や知識蓄積

NEW

あうたびに、あたらしい

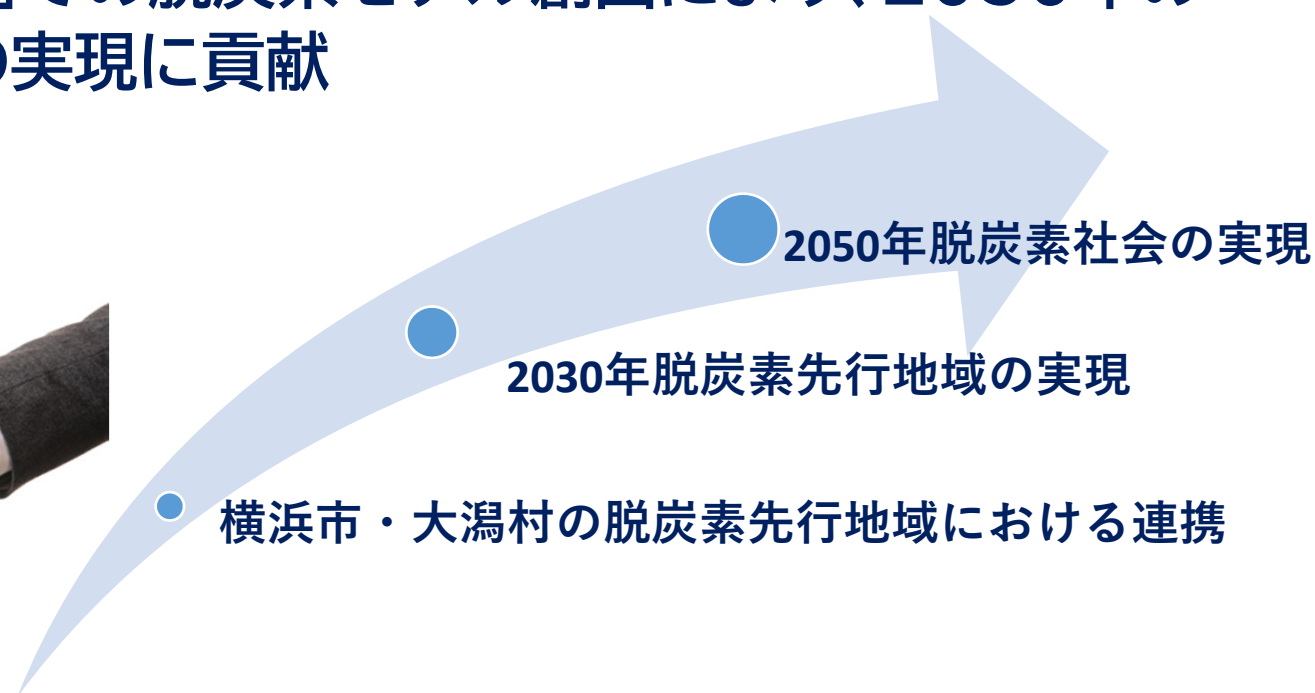
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



# 大潟村との連携協定

- 本連携協定により、両自治体における脱炭素先行地域の取組を加速
- 「都市と農村」での脱炭素モデル創出により、2050年の脱炭素社会の実現に貢献



# 大潟村概要



- 人口3,046人、世帯数1,153世帯（令和4年7月1日現在）  
面積:170.11 km<sup>2</sup>
- 秋田県の北西部に位置しており、かつて日本第2の広さを誇る湖「八郎潟」を干拓し生まれたむら
- 国内有数の水田稲作が盛んな地域で  
JR山手線圏内（約63km<sup>2</sup>）よりも  
大きな面積（約110km<sup>2</sup>）の約11,000ha  
の水田による米の生産基地として  
高い知名度を有する



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA





# 再生可能エネルギーについて



- 近年、こうした水田から産まれる「もみ殻」や「稲わら」等のバイオマス資源を最大限循環利活用する事や、太陽光発電を主とした再生可能エネルギーの地産と地消を目指す
- 「自然エネルギー100%の村づくりへの挑戦！」として、脱炭素先行地域に選定
- 都市部への再生可能エネルギー供給等のポテンシャルもまた、潜在的に高い地域



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



## おわりに

---

再エネを通じたパートナーシップを構築し、  
「脱炭素先行地域の実現」「脱炭素社会の実現」  
に向けて、率先して取り組みます。

